

通りの機能が低いものになってくれそうです。そして最も大事なことは、それを今後どのように活かすかということ。完成するとそれだけで満足感に浸りたくなくなってしまふこともあるので、油断なく積極的に取り組んでいくつもりです。(笑)

**児童養護施設「柏葉荘」
とのささやかなご縁に感謝**

この度ご依頼を受け、児童養護施設に在籍する子供が施主となる母親のご遺骨をお預かりすることになりました。そこで生まれたご縁から今度は私の方からお供物のお菓子などを子供達に届けることを打診したところ、「是非!」という一つ返事でした。今年のお盆の後、施設にお邪魔致しました。実はお供物のお菓子を全国の児童施設に届けてくれる団体は以前からあったのですが、出来ればその状況を子供達に行きつく末端まで目が届けば尚よいと考えたり、自然派の生果がこれのような形で叶うこととなり、良縁に生まれたい恵まれておられます。お寺としては、当然地域社会の貢献に努めるべきですが、お供物のエコロジックの観点から良いご縁を授かったと思います。施設には定員いっぱい百名ほどの児童が在籍しており児童虐待や家庭問題などの実情を改めて感じることになりました。こう考えればお寺が出来ることがポテンシャルはまだ何かあるような気がします。このご縁を大事に、また新たな視点でお寺の可能性を探してみたいと思います。



(上) 住職と主任保育士の矢田さん
(下) 柏葉荘の施設の外観

お寺の伝言板

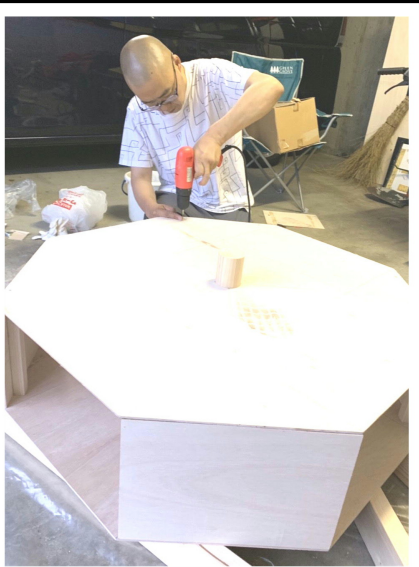
- 法要の前日確認について
常々お伝えしておりますが、年忌法要などの際は、時間と場所の前日確認をお寺までお電話にてご確認下さい。お寺でも細心の注意をしておりますが、誤解が生じている場合があります。ご協力下さい。
- 納骨堂管理費について
平成三十一年度(令和元年)の納骨堂の管理費が未納の方は、本年十一月末までにお納め下さい。ご希望の方は、令和二年度分も納入頂けます。
- 工事期間中の玄関・駐車場について
もうしばらく増改築工事が続きます。時期によっては通常の玄関から入れなくなったり、駐車スペースが限られた状況になっていく場合があります。その際は遠慮なくお寺までお尋ね下さい。斜め向かい側の駐車場も利用可能です。
- 一詠歌・歌声・体操など参加者募集中
お寺にて様々な活動を実施しています。住職が講師を務める「詠歌(月一回)」をはじめ、歌声喫茶、体操教室など随時参加者を募集しています。日程は随時お寺にてご確認下さい。初めてのの方も歓迎致します。
- 年末年始について
年末年始は通常通りお寺に入ることが出来ます。お気軽にお参り下さい。

寺報 令和元年 冬

冠省 令和元年も間もなく終わりを迎えようとしております。この一年は自然災害が多く、私達が今後どうなっていくのか、何を正していくべきなのか、そんなことを考えさせられる機会が多かった気がいたします。

最近個人的に感じているのは、私達は日常の全てを容量の限界まで詰め込み過ぎていて、時間的にも精神的にも余白というものがなく、この状態がもはや耐え切れぬ域に達してしまつたのではないかと感じています。

例えば洗濯という行為を考えた時、私達がそれにかかる時間は百年前に比べると格段に短縮化出ています。今現在川に行つて洗濯板で衣類を洗っている人はおりませんし、洗濯物を干す時間すら省略出来る環境にあります。普通に考えれば洗濯に費やす時間が減つた分、生活に



ジャンボカラポン機を創作する住職

余裕が出来てもよいはずですが、私達の日常はむしろどんどん忙しくなり、精神的な余裕がなくなつてきています。せつかく日常業務を大幅に短縮出来たのに、そこで得た時間を更にまた追い込みをかけ、こういった余白を覆い尽くすイタチごつこを繰り返してききました。これを超える限り、どんなに便利なものが出来ても生活が良くなるとはどういふことなのでしょう。か？あるいは私達の生活は本当に良くなったのでしょうか？改めてこの根本的な疑問を投げかけてみると、自信を持つてイエスとは答え難いのが本心です。そしてこの心に余白がないという疾患は、様々な問題を引き起こします。誰でもつい言葉で人を傷付けてしまつて余白がありません。思い返せばそんな時は自分余白がない時です。人を傷付けるばかりでなく、自分自身も常にストレスを抱え、自己嫌悪の要因にもなるでしょう。このままでは人間のあり方のみならず、社会全体の風潮も益々疲弊していきまます。無意識のうちには走らされている私達がこの現状を断ち切るには、明確な意図をもって臨む必要があります。実は坐禅というものは、その心の余白を保つ様式の一つになり得るものです。曹洞宗の開祖道元禅師は、坐禅のことを「万事を休息す」と言いました。万事というのは文字通り全てです。全日を休息した状態というものは意外に難しいものです。明日は仕事で休みだから朝まで飲みに行こうというの、残念ながら「全て」の休息になりません。坐禅の姿を

想像すると、外見上はただ座っているだけの人の生産性もない状態です。現代人にとつて最も苦痛といえる行為でしょう。しかしなぜそれが私達の宗祖や歴代の祖師が継承してきたかと言え、既にこの心の問題にコミットし、ライフデザイン模範案を提出してくれていたからではないでしょうか。とは言ふものの、私は一般社会において本山の修行僧のような坐禅に則した生活を強いるつもりはおりません。それが坐禅であるかはどうかはさておき、今の私達には余白部分を持つべきか、はたして必要かどうか、このことを考えたい。ただ私は禅宗の僧侶です。この呼吸を整えてただ座る行為を一つのオプションとして躊躇なく提案出来るわけですから、物を全して静止してみるのは確かに勇気はいるかもしれませんが、日常生活の様式として取り込むことが出来れば、一つの打開策になるかもしれません。

本堂の工事が完了次第、私ももう一度坐禅の布教を進め、現代人のニーズに照らし合わせてアプロイチしてみたいと思います。

初挑戦! 医師×僧侶 トークショーイベント!

以前より交流のあった医師の松永先生主催のイベント「コムフェス2019」において、トクシヨウのゲストとして参加させて頂きました。松永先生は改革派の医師として医療の観点から地域づくりを考へる様々な取り組みを手掛けており、このイベントもその一つとして実施されました。トークショーは「一人の生と死に關する職業」というテーマでおよそ一時間行われ、松永先生と議論を致しました。私にとつては初めての経験でしたが、自分自身が楽しく過ごせたと同時に聴衆の皆様のリアクションも非常に温かかったです。思えます。実は私も個人として「私はお坊さんですよ!」という看板を全面に掲げて露出するのは、元々不得手な方です。必要なら僧侶という重たい鎧を着れば、必要以上に背伸びをしてしまいかねないからです。



ハロウィンパーティーではそれぞれの好みで仮装しました！
双子はもうすぐ小学校、ランドセルを心待ちにしています！
ケンカも多いですが少しづつお手伝い出来るようになっていきます！

お陰様で子供達は元気です!